

協働事業負担金の事業終了後の状況

事業名	実施団体	実施期間 負担金総額 (千円)	事業の目的	事業の継続状況	協働部署	県の役割
神奈川県立こども医療センター患者・家族滞在施設運営事業	特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ	平成19年 ～23年度 11,874	こども医療センターに長期入院する子どもの闘病生活を支えるための患者家族滞在施設の運営を行うと、患者家族の闘病生活に対する支援を行うとともに、交流の場の提供やきょうだい保育等により、患者家族の負担軽減を図る。	<病院事業課、神奈川県立こども医療センター、NPO法人スマイルオブキッズの三者で協働の協定書を締結し、引き続き事業を実施。県は、広報等の協力をしている。→県からは資金提供はしていないが、企業・個人からの寄附金やチャリティコンサートの収益等により運営を継続している。> ①施設運営事業 ②広報啓発事業 ③患者家族会・障害児支援事業 ④きょうだい児預かり保育事業	病院事業課(こども医療センター)	・情報の提供・交換・共有
デートDV(恋人間の暴力)防止のためのシステム構築事業	特定非営利活動法人エンパワメントかながわ	平成21年 ～25年度 23,925	高校生向けにデートDV(恋人間の暴力)を防止するための教育を行うとともに、相談電話を中心とした被害者支援体制を広げることで、デートDVを防止するシステムを構築する。	平成26年2月に認定NPO法人となる。 平成26年度以降 かながわ女性センターの講座を受託。 かながわ女性センターとの協働事業として、講座を開催。	かながわ女性センター 行政課	・情報の提供・交換・共有 ・活動の場の提供 ・広報 ・イベント等の共済 ・県関連部署との調整 ・その他の行政等関係機関との調整
アレルギー児を学校・園、保育所、救急隊との連携で支える研修事業	特定非営利活動法人アレルギーを考える母の会	平成21年 ～25年度 7,800	公立・私立学校の教職員や保育園の職員、救急救命士を対象に専門医による研修を行うことでアレルギー疾患の病態や適切な対応について理解を促し、学校や園等で連携してアレルギー児を支える体制を作る。	次世代育成課、健康増進課、保健体育課において、食物アレルギー予算を措置した。 その一部を受託。	私学振興課 次世代育成課 健康増進課 保健体育課	・情報の提供・交換・共有 ・イベント等の共済 ・県関連部署との調整 ・その他の行政等関係機関との調整